

BIG BEN

- p1 日本クラブはオンラインで活動継続
- p2 写真探訪 : Mews
- p3 領事便り : 窓口業務の予約制
- p4-5 特集 : 創刊 250 号を迎えた「びっぐべん」
- p6 短信 : オンライン・ジャパン祭り 他
- p7 エッセー : 第 2 次ジャポニズム到来
- p7 クリサンシマムカップ結果報告
- p8 理事交代、同好会案内 他

新型コロナ・ウイルス感染第 2 波

日本クラブはオンラインで活動を継続

英国では新型コロナウイルスの勢いが止まらない。10月に入り、イングランド北部では再ロックダウンの規制が導入された地域も出た。英政府は感染度に応じてイングランド全土に対して3段階の警戒レベル (Tier1 ~ 3) を規定、全国同一の規制でなく、地域別による規制を強化するようになった。ロンドンは当初 Tier1 (medium) であったが、10月17日 (土) よりロンドン全域 (エセックス、サリーの一部を含む) にも Tier2 (high) を導入、これにより会員の日本クラブ会議室へのアクセスが再び難しくなった。

●事務局、クラブサロン

10月末現在事務局は引き続き交代勤務制で、電話やメールの受付対応をしている。理事会や各種委員会のミーティングは3月のロックダウン以来オンライン会議で開催されている。今年12月の総会も状況が変わらない限りオンライン総会となりそうである。

会議室の貸し出しは、午前、午後、夜間にそれぞれ1つの予約を受け付け、講師を含めて6名の参加者という条件で予約受付が検討されたが、ロンドンに Tier2 が導入されたため、当分の間会議室の予約は受け付けていない。

●ゴルフ教室、語学教室、セミナー

日本クラブ主催のゴルフアカデミーは継続開催中。また、オンラインによる英語教室は9月より ZOOM 講座で開講中、フランス語教室は講師の意向で、教室での開

催が可能になり次第開催することになっている。開催が決まった際にはお知らせメールで告知される。

定期的開催されている「インテリア・セミナー」は講師の斎藤洋子氏の厚意でオンラインセミナーとして10月17日 (土) に開催された。坂次健司氏によるシティ散策ツアーは中止となったが、同講師によるオンライン・セミナー「ちょい深ロンドン」歴史小噺『ロンドン塔のクラスはなぜ六羽?』は10月3日 (土) に開催された。

10月24日 (土) には「チーズ、基本のキ」と銘打ったチーズ・セミナーが開催 (オンライン) され、講師のマティス加奈子氏によりスーパーのチーズ、チーズ専門店のチーズはどう選ぶかといった話を聞くことが出来た。

今後も笹山美栄講師によるロンドン西洋美術史講座第2弾、フォガティー洋子講師によるオペラ講座、坂次講師によるロンドン歴史小噺セミナー第2弾、第3弾が予定されている。11月に予定されている坂次氏による大英博物館ツアーは屋内ツアーが難しくなっているため、オンラインによるツアーが可能かどうか検討されている。

●アウトドア活動は中止、日英対抗ゴルフ大会は開催

毎年恒例のワイナリー見学バスツアー、日本庭園清掃作業、ジャパン祭り、シティ散策ツアー、グリニッジ天文台見学ツアーはいずれも中止となったが、ジャパン祭りは9月26日 (土)、27日 (日) の2日間にわたりオンライン行事として開催された。(P6 参照)

(2面へ続く)

また、毎年行われているメイデンヘッドゴルフクラブと日本クラブのゴルフ対抗戦「クリサンシマムカップ」は予定通り10月11日(日)に開催された。(P6参照)

●診療所は月～金曜日オープン

医師2人体制で月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで(受付は4時30分まで)診療しているが、新任の小児科医師の派遣が決まらないでいるので、小児科診療(15歳未満)は停止されたまま、また、健康診断も再開のめどが立っていないため長期停止となっている。

小児科診療の停止で乳幼児健診、定期予防接種が出来



日本クラブ診療所

なくなったが、軽い症状や継続治療・外傷については、内科の医師が対応できる場合もあるので相談するとよい。

診療所内は安心して診療を受けられるような対策が取られており、感冒症状以外の患者は、持病等の症状が悪化することがない様に早めに来院することが薦められている。

医師による感冒症状や健康面での心配、持病の対応等の電話相談(有料)を受け付けている。予約制で一人当たり5～10分程度。

インフルエンザワクチン接種の受け付けをしているが、今年はワクチンの供給がNHS優先となっており、入荷数が少なく、会員とその家族の希望者のみを受け付けており、確約はできないが、入荷次第順番に連絡するという方法を取っている。

●同好会活動

ゴルフ同好会は毎月の例会を開催しているが、人と人の距離を保つためプレー後の食事会や表彰式は行っていない。ブリッジ同好会は毎月の例会をオンラインで開催中、グリーンコーラスもオンラインによる定期的練習を継続、ジャパン祭りにはオンライン参加した。

写真探訪 Around London

[Mews]

ロンドン中心地の住宅街にはあちこちにミューズと呼ばれる小さな裏道がある。大抵は大きな道路と道路に挟まれた場所に位置し、両脇には2階建ての小じんまりとした建物がずらりと並んでいる。自動車が走る前のヴィクトリア時代には主な移動手段は乗馬か馬車だった。裕福な家族は表通りの立派な住宅に住み、ミューズと呼ばれる裏道の馬小屋に馬や馬車を置き、御者や厩の番人を住ませた。ミューズとはこの厩通りのことを言う。現在では厩としては機能しているところは少ないが、市内中心部にあることや、車が通り抜けられない静かな環境、馬小屋がガレージになることなどから、住宅にしたり、小さなオフィスに改造したりしているところが多い。

(Holland Park Mews 文・写真:加藤節雄)





当館領事窓口業務の予約制について

「びっぐべん」7月号で当館領事窓口業務（パスポート、ビザ、証明、戸籍届出等）の予約制の案内をさせていただきましたが、英国における新型コロナウイルスの感染が再び拡大しつつある状況に鑑み、予約制の継続を再度案内させていただきます。皆さまには多大なご不便をお掛けいたしますが、ご理解の上、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 予約方法

必ず電話で予約をお取りください（メールでの予約は受け付けておりません。なお、近日中にオンラインによる予約制を導入する予定です。予約の方法等の詳細については、当館のホームページに掲載いたします）。

(1) 予約できる期間

お電話をいただいた日から3週間後まで（休館日を除く月曜日から金曜日）とします（予約を取る日が11月4日であれば、11月25日までが予約可能な期間となります）。

(2) 予約電話のかけ方

領事班代表番号（020-7465-6565）に電話をかける。

- ・「こちらは在英日本国大使館領事班です」というアナウンスが聞こえたら、「1番」を選択する。アナウンスの途中でも操作は可能です。
- ・「次の項目から選択してください。」というアナウンスが聞こえたら、「0番」を選択する。アナウンスの途中でも操作は可能です。
- ・担当者が対応いたしますので、「手続き内容」「予約希望日時」「来館者氏名・人数」及び「来館日当日の連絡先（携帯電話番号等）」をお伝えください。

※なお、予約、電話ともに非常に混み合っており、お電話が大変繋がりにくくなっておりますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

2 窓口時間

混雑緩和のため、申請手続き（パスポート、在留証明、署名証明等）と受領手続きの受付時間を以下のとおり分けています。

- ・ 10:00～13:00、14:00～15:00：パスポートの申請、在留証明・署名証明の申請及び受領、査証申請
- ・ 15:00～16:30：パスポートの受領、郵送申請したその他の各種証明の受領、査証受領

3 来館時の注意事項

英国政府の方針を踏まえ、当館としても感染拡大を防止する観点から、ご来館される方は以下につきご協力ください。

- (1) Social Distancing の観点から、手続きを行う上で必要でない同伴者を伴ってのご来館はご遠慮ください。
- (2) 来館者間及び接触物からの感染を避けるため、マスクなどのフェイスカバー着用、手指のアルコール消毒（消毒用アルコールは館内に備え付けてあります）、ペンなどの筆記用具の持参、等のご協力をお願いいたします。

4 郵送による受付

3月19日以降、以下の手続きについては郵送のみ受け付けておりますのでご注意ください。

- (1) 証明手続き（申請のみ郵送で受け付けますが、受領は来館が必要です。在留証明、署名証明は、郵送申請は受け付けられませんので、必要書類をご確認の上、予約をお取りください。ただし、過去に日本年金機構または共済組合に提出する在留証明書を取得され、住所に変更のない方については郵送での申請・受領が可能です。）
- (2) 戸籍関係届出
- (3) 国籍関係届出
- (4) 在外選挙人登録関係手続き（記載事項変更及び再交付申請等。ただし、在外選挙人名簿登録申請書の提出の際には来館が必要となります。）

※日本の運転免許証から英国の運転免許証への切り替え申請を行い、返還された場合には、当館より申請者に郵送にてお返ししています。

※各手続きの必要書類や郵送宛先は当館ホームページにてご確認ください。

※上記は本稿執筆時（10月27日）での情報ですのでご留意願います。

https://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ryoji.html

特集

「びっぐべん」創刊250号 クラブの歴史を反映する会報

■創刊は1980年

日本クラブ会報が創刊されたのは1980年12月1日だった。当時の藤山榑一日本大使（日本クラブ名誉会長）は創刊号で「日本クラブが在住する邦人の中枢機関として、邦人子女教育のための日本人学校を運営し、邦人に対する医療・健康管理のための診療所の経営に当たっていることは、きわめて重要性が高い」と真価を認め、また、「スポーツや文化行事開催を通して日英親善に貢献している」として日本クラブの存在意義を高く評価している。

ロンドンの日本クラブは戦前から存在していたが、第2次大戦で閉鎖され、戦後日本クラブが再建されたのは1960年だった。会報の「びっぐべん」はクラブ再建以後20年後に発刊されたが、記録によればそれ以前にはガリ版の会報が存在し、また、OCSが発行していた邦人向けのコミュニティー新聞『ヨーロッパの暮らし』の中に日本クラブ会報のページが設けられたこともある

が、残念ながらそのコピーは現在では残っていない。

創刊号は4ページ建てモノクロ印刷だった。それ以来発行は偶数月で、印刷は当時ロンドンにあった日本語の写植会社の佐藤グラフィックスが引き受けていた。編集は日本の新聞社の特派員が交代で事務局長の木野惲氏とともに進んでいた。会報に

対する評判は良く、すぐページ数が足りなくなり、3号から6ページ建てが試みられ、9号からは6ページ建てが確立した。

■2色刷り8ページに

81号（94年5月号）からは白黒印刷を2色刷りとし、毎月違う色で印刷されるようになった。また、会員からクラブの活動報告だけでなく、ロンドン生活の役に立つ情報も入れてほしいという要望があり、週末ドライブシリーズや英国のスポーツ紹介等の連載記事を入れ、ページ数も8ページ建てとなった。

1997年7月に「びっぐべん」は創刊100号を迎え、それを機にタイトルページを一新した。1998年5月には平成天皇后陛下が国賓として英国を訪問、「びっぐべん」はこの歴史的なご訪問を記念して総カラー版を作成した。

「びっぐべん」は創刊号以来隔月刊の発行だったが、一時月刊になったことがある。109号（1999年1月号）からで、日本人学校の活動や派遣員のリレー随筆、エッセー、診療所便り等、内容も豊富になった。ページ数が増えれば制作費用もかさばり、クラブの財政負担も大きくなる。122号（2000年2月号）からは紙質を落として対応したが、この月刊方式は129号（2000年9月号）をもって終焉した。

しかし、会員へのお知らせや告知のためには、会報は毎月定期的に発行されていることが望ましいことから、2003年12月より「びっぐべん」が発行されない



「びっぐべん」創刊号

① 「びっぐべん」の由来

1980年の会報の発刊に当たり、タイトルとして『テムズ』『ちえるしい』『こつくにい』等が候補が上がったが、結局、ロンドンを象徴する言葉として『びっぐべん』に落ち着いた。題字の毛筆は当時の名誉会長であった藤山榑一駐英日本大使の筆による。



② タイトルデザインの変遷

「びっぐべん」のタイトルデザインは過去5回変わっている。最初は日本語だけだったが、150号（2004年1月号）からは英文のBig Benという表記が入った。その後192号（2011年3月号）で英語のタイトルのフォントが変わり、そしてオンライン版になった214号からは現在のロゴになった。タイトルのデザインは変わったが、藤山大使の書いた「びっぐべん」の文字は創刊号以来ずっと使用されている。（写真参照）

③ 偶数月から奇数月発行に

一時毎月発行になった時期もあったが、創刊号以来「びっぐべん」は原則的に隔月の発行を守っている。創刊号が12月だったため、その後偶数月の発行となった。ところが1988年4月になり、事務局がシティのQueens Streetに移転したが、その際に事務局が多忙を極め、6月号を発行することが難しくなり、次号を1か月先延ばしにして7月の発行とした。それ以来「びっぐべん」は毎奇数月の発行となった。

特集

「びっぐべん」創刊250号 クラブと変遷を共にする会報



「びっぐべん」の変遷

偶数月に広報誌「りとるべん」の発行を始めた。これはA4一枚の裏表刷りでクラブからのお知らせを中心に事務局が編集した。

2010年に日本クラブは戦後再建50周年を迎えた。「びっぐべん」ではこれを記念して5月号で特別記念号として、総カラー版24ページの特大号を作成した。内容は日本クラブ50年の歴史、また将来への記録として、クラブの活動、各種サービス、クラブの組織図、理事及び各委員会委員の名前を記載し、次の50年に向けての参考にした。

■オンライン版

2000年ごろから日本クラブの財政状態が悪くなり、「びっぐべん」の紙質を落としたり、「りとるべん」をメール配信にしたり、「びっぐべん」を6ページ建て、白黒印刷にする等のいろいろな節約方法が試された。

2010年ごろからは世界的なIT技術の発達にともない、日本クラブもメール配信やホームページを通して各種手続きをコンピューターで行うようになってきた。

紙に印刷されたものを読む人が少なくなり、すべてをコンピューター画面上で済ます傾向が強くなってきた。そんな中、「びっぐべん」もオンライン化する動きが出てきた。オンライン版はカラー版となるので、写真もきれいになるし、図表も分かりやすくなる。編集作業は変わらないものの、何よりも印刷費、紙代、郵送費が節約されて、日本クラブの財政困難の助けにもなる、ということで214号(2014年11月号)より「びっぐべん」はオンライン版となり、現在に至っている。

すでにオンライン版になってから6年が経った。クラブの活動も増え「びっぐべん」の内容も落ち着いていた。ところが2020年になり、世界的な新型コロナウイルスのパンデミックが起り、英国も3月から全国ロックダウンという処置がとられた。企業は社員に在宅勤務を課し、日本クラブの活動も中止に追い込まれた。会議はオンライン・ミーティングで辛うじて続けているが、実際の活動が中止されたため、報告する内容が無くなり、「びっぐべん」の編集作業が大変難しくなった。それでも編集委員の努力のおかげで、8ページ建てを維持し会員への情報提供を無事に続けている。

(文 加藤節雄)

④ 会報は活動報告、情報提供そして記録

私が「びっぐべん」の編集にかかわり始めたのは16号(1983年6月号)からだった。それ以来現在まで37年間も「びっぐべん」の編集作業にかかわっていることになる。初期の頃は「びっぐべん」編集委員会があり、編集長は日本の新聞、通信社のロンドン支局長が毎年交代で務めていた。編集デザインは佐藤グラフィックスが請け負っていた。その後、編集委員会がホームページの編集も手掛けるようになり、クラブの広報関係全体を総括する広報委員会が発足、日本のメディアの代表が広報委員長に、そして私が「びっぐべん」編集長を務めるという体制になった。2003年よりはa Concept社がデザインと印刷を扱うことになった。この体制はオンライン版になっても変わっていない。

会報はあくまでも会員向けの活動報告と情報提供を心掛けているが、もう一つ大きな役目がある。それは在英日本人社会の動向を記録していることである。何年後かに昔の日本人社会のことを知りたい人がいたら「びっぐべん」を見ればよく分かる、というのが理想である。

(加藤節雄：「びっぐべん」編集長)



天皇后両陛下下訪英記念号



日本クラブ創立50周年記念号

短 信

COMMUNITY PLAZA



📌 ジャパン祭り 2020

恒例のジャパン祭りは新型コロナウイルスの関係で今年はトラファルガー広場での開催を断念、その代替案として、Japan Matsuri Presents という形でオンラインによる日本文化紹介イベントが9月26日(土)、27日(日)の2日間にわたって開催された。開催当日は土曜日が午前10時から午後8時まで、日曜日が午前9時から午後8時までの長時間にわたり Callum ForbesさんとKuroda Harukaさんの司会のもとライブ・ストリーミング及びオンデマンド方式で行われた。主催者の話では2日間で Performances、Discovery Area、Martial Arts、Food and Drinkの4部門での催し物の数は繰り返しを除いて40件、ストリーミングによる入場者は約3万人に及んだ。パフォーマンスでは

阿波踊り(写真①)や大阪登美丘高校ダンス部が出演、また今年亡くなったファッション・デザイナーの山本寛斎氏の「ニッポン・ゲンキ・プロジェクト2020 スーパー・エナジー」の公演も披露された。日本クラブ・グリーンコーラスも27日(日)の午前9時20分より公演した。(写真②)当日参加で来なかった人でも現在ジャパン祭りのHPやFacebookでこの日本紹介イベントを楽しむことができる。

www.japanmatsuri.com

📌 ハマースミス公園 グリーンフラッグ賞受賞

今年ハマースミス公園日本庭園清掃作業はコロナ禍のため止むを得ず中止となったが、この度、緑のスペースを持つ都会のコミュニティーガーデンとして、英国政府 (Ministry of Housing, Community & Local Government)

による2020/2021年度グリーンフラッグ賞 (Green Flag Award) を授与された。この賞は政府が委託した“Keep Britain Tidy”が全国の小さな公園を回ってエコロジカルな視点から優秀な公園に賞を授与している。

ハマースミス公園の受賞は2度目。ハマースミス&フラム区の公園担当者は、日本クラブをはじめボランティアで公園の整備や清掃に尽力してくれている人々に感謝の意を表している。

📌 日本クラブ ホームページ・リニューアル

日本クラブのホームページのデザインがリニューアルされた。ホームページ担当の広報委員会とデザイン会社のa Concept社が協力して制作したもので、表紙は英国国会議事堂を背景にあしらい、これから徐々に内容も更新されていく。(写真③)

2020年日本クラブ総会 (オンライン)のお知らせ

日 時：12月10日(木) 16:00
開催方法：オンライン

※今年の総会はコロナ・パンデミックの影響で、オンライン形式で行われる予定です。総会の詳細はメール配信にてお知らせいたします。出欠は専用サイトにてご確認いただきますのでよろしくお願いいたします。

日本クラブ会費今年度は据え置き

会員種別	会員区分	入会単位	会費/年
	法人会員	正会員	家族
個人会員	駐在員	家族	£ 145
	一般	家族	£ 45
	永住者	家族	£ 25
	同上 60歳以上	家族	£ 15
	学生	個人	£ 30



第2次ジャポニズム到来

ウィズ・コロナ、アフター・コロナで新しい生活様式が急速に取り入れられ、それらはニュー・ノーマルとして定着しています。このニュー・ノーマルを総括してみると、これぞ「第2次ジャポニズム」ではないかと思えて仕方ありません。19世紀後半、西欧の美術界に新風を吹き込んだ一大芸術思潮のジャポニズムですが、今回は日本の生活様式が世界中を席卷しているのです。

もう当然のこととなり、国によっては法律で義務付けられているマスク着用ですが、日本は国民病ともいえる花粉症対策として、国民が自発的に実行しています。さらに、日本の科学と美感が一体となり、より機能的な材質、形状で美的なデザインのもので生産され、国内だけではなく、輸出もされているほどです。もうマスク姿の日本人を笑う人はいませんね。

ついでに、日本では電車内での携帯使用は禁止ですが、これもぜひ取り入れてほしいものです。せっかくマスクをしていても、ひとたび携帯が鳴ると、マスクを外して大声で会話をする人達が非常に多いからです。これでは公共の場でマスクをしていても何にもなりません。そういう人に限って、バスなどでは一番奥の席に座っており、前方全ての人に呼気が行き渡る構図となっているのです。

家や学校では、内と外を区別して靴を脱ぐ日本の習慣ですが、これを始めたイギリス人が結構います。以前は国際結婚の場合、伴侶にはその習慣を実行してもらって

も、義理の両親が来たり、パーティーなどの場合、この習慣をわかってもらうのに一苦労でしたが、今回のコロナ禍により、詳しく説明することなく、受け入れてもらいやすくなりました。

ソーシャル・ディスタンスは1メートルか2メートルかと議論は続いています、とにかく間を空けることに関しては、皆納得しています。なぜ日本ではコロナで亡くなる人が少ないのか、様々なことが指摘されていますが、この人と人との距離感、コミュニケーションにおける接触度の違いは、第2次ジャポニズムの大きな要素として認識されました。

日本は水に恵まれているという事情もありますが、外食の際には、席に着くや否や無料でお絞りと水が出て来るサービスが普通です。このお絞りは、手洗い、消毒につながる一連の清浄習慣です。どこでもドライティッシュと抗菌ウェットティッシュを携帯していたような日本人にとって当然の習慣が、海外では最も有効なコロナ防衛手段として取り入れられています。

その他、個別の皿にそれぞれの料理を配膳したり、マイ弁当、マイ箸を持参するような食事の習慣も、注目されています。このように数えればきりが無いほどある日本の生活様式が、第2次ジャポニズムとして世界中に良い影響を与え、貢献していると言えます。



クリサンシマムカップ：日本クラブ3連敗

1923年から続いている伝統の日本クラブとメイデンヘッド・ゴルフクラブとの親善ゴルフ対抗戦が10月11日(日)メイデンヘッド・ゴルフコースで開催された。今年の日本クラブチームは長嶺大使を始め佐崎会長並びに4名の副会長と、日本クラブ役員が6名も参加するという豪華なメンバーで試合に臨んだが、結果は残念ながら日本クラブが4敗2分けで完敗した。これで日本クラブは3連敗となる。

例年だと試合後には食事会があり、両チームキャプテンが挨拶する懇親会が開かれるが、今年はコロナウイルスの影響で、ソーシャル・ディスタンスを保つこと、

6人を超える集会在禁止されていることから、自粛ムードで食事会は無しとなり、プレイをした4人のチーム(日英2人ずつ)毎に着席し、1~2杯のドリンクを飲んで流れ解散となった。

日本クラブ・ゴルフ同好会幹事の外山さんによれば「今年は日本クラブチームは日本大使を始め多くの役員の方にも参加していただき、大いに盛り上がりましたが、試合後の懇親会が開催できず残念でした。来年は通常に戻って、日本クラブが雪辱をしたいと願っています」とのこと。



日本クラブ理事の交代

- ◆無任所：河合祐子氏より花尻哲郎氏へ（ともに日本銀行）
- ◆無任所：藤野琢巳氏より中石斉孝氏へ（ともにJETRO）

退会届をお忘れなく

日本へ帰任される方及びその家族の方は忘れずに日本クラブへの退会届の提出をお願いします。退会届はホームページからダウンロードできます。

www.nipponclub.co.uk/pdf/forms/taikai.pdf

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07956-551363（外山健二）
kenjitoyama787@gmail.com
随時入会受付中（申し込みはHPから）

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例会：毎週木曜日（11:30am 開始）
- ◆会場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
<http://ycbc.co.uk>
- ◆問い合わせ：yasy9395@aol.com（宮崎）
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆会場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：
londongreenchorus@gmail.com

日本クラブ囲碁会

- ◆例会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆会場：Inn of Court Pub
地下鉄 Chancery Lane Exit 3より直進2分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用について

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な場所にあります。



地図はホームページ（www.nipponclub.co.uk）の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

◆新型コロナウイルスに関するユーロポイント・センターの方針により、クラブサロンは閉鎖しております。

- Nippon Club
Ground floor, Europoint Centre
5-11 Lavington Street, Southwark, London SE1 0NZ
TEL: 020-7921-9490

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 通学バス利用可



入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中学部・高等部
（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）

● 日本クラブ 在英日本企業200社がサポートしています / 英国で50年以上に亘り日本語で最新医療を提供しています

NIPPON CLUB メディカルクリニック

内科
一般診療

東京慈恵会医科大学の派遣医師が常勤しています

- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 婦人科検診随時実施
- キャッシュレス対応

内科を中心とした一般診療に加え、婦人科検診、各種予防接種を行うほか、日本人専門医による内視鏡検査も行っています。最新設備を備えた総合病院内で診療しているため、CT/MRIなどの専門検査や各種専門医への紹介・入院手続が可能です。

旅行
保険で
キャッシュ
レス

www.nipponclub.co.uk/clinic

Hospital of St John & St Elizabeth (Brampton House 1F)
60 Grove End Road, London NW8 9NH (Jubilee線St John's Wood駅から徒歩3分)

020-7266-1121
(要予約、月～金：09:00～17:00)